



樹園地における農村環境保全活動

やまなし

日下部地域環境保全委員会（山梨県山梨市）

- 日下部地区は、山梨市の中でもJRや国道・県道等の主要交通機関の沿線に位置し、商業地や住宅地の周辺に農用地が混在している地域である。
- 地域の耕地の9割程度が果樹園で、ぶどう、桃、柿等が栽培されているが、高齢化の進行によって離農が進んでおり、地域の共同活動への参加者が減少傾向にあった。
- 地域の水路は自然石の空石積みが多いことから、これを活用した生態系配慮区域を設定しホタルの生息環境保護活動を実施するなど、地域の環境向上を図っている。

【地区概要】

- ・取組面積 30ha（畑30ha）
- ・資源量 開水路4.0km、農道3.0km
- ・主な構成員 農業者、非農業者
- ・交付金 約1百万円（H29）

〔 農地維持支払
資源向上支払（共同） 〕

地域の状況



樹園地に隣接する水路の様子

- 昭和30年代まで水稲と麦の二毛作地帯であったが、その頃の農地がそのまま果樹主体の営農に変化していったため、農地の区画形状は不揃いで、農道は曲がりくねって幅員は狭い。水路は自然石の空石積みが多い。
- 水路や農道の草刈り、泥上げは、農地・水保安全管理支払交付金に取り組む以前から地域の共同活動として定着しており、農家・非農家を問わず水利組合費が徴収されていたが、高齢化や離農の進行に伴い、活動への参加者の減少が問題となっていた。

取組内容



自然石の
空石積み水路
と道路の補修

ホタル水路の 維持管理



地区内の水路は、昔からの用排兼用水路で、空石積み水路が多いことから、この水路を活用し、深みやよどみを設けるなどホタルの生息に適した状態に維持する取組を行っている。

今後の課題

- 山梨市では全耕地の15%が耕作放棄されており、本地域でも高齢化や離農の進行により耕作放棄が増加している。
- 果樹は水田作等に比べて作物転換が困難であることから、営農放棄された農地では、果樹がそのまま放置されている場合が多い。
- 今後も増加し続ける耕作放棄地の防止等の課題に対応するため、本交付金を活用した前述の取組を実施することとしている。